

ナンバリング	B⑥01	科目名	専門総合演習 「からだを学ぶ:私たちの生活とからだ」
担当形態	単独	担当教員	田中 葵
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト	適宜資料を配布する。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	2 単位・演習
到達目標	・私たちが暮らす社会とからだの関係性について理解し、説明することができる。 ・からだに対する価値観を見直し、より生きやすいからだについて考え実践できる。 ・保育における遊びや生活の中での動きの経験について理解し、説明することができる。 ・話し合いと実践を通し、からだに関する自分の関心や課題を発見する。		
授業の概要	私たち人間の活動は、すべて「からだ」を通して行われています。そして私たちのからだは、食事や睡眠といった生活の仕方はもちろん、さまざまな情報や価値観に影響を受けています。そのことを再認識しながら、本授業では、まずは自分自身のからだのあり方を見直していきます。また、幼児期のからだを動かす遊びや障害者スポーツも、事例や話し合い、実践としてふれていきます。これらの話し合いや実践を通して、一人ひとりが自分の関心や課題を見つけていくことを目指します。		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション:からだを学ぶことについて 第 2 回 遊びと生活の中での動きの経験 第 3 回 これまでの実習での事例の共有 第 4 回 私たちが暮らす社会とからだ 第 5 回 からだへの価値観について考える 第 6 回 自分のからだを見つめ直す 第 7 回 色々なからだの動かし方①:ブラインド・ワーク 第 8 回 色々なからだの動かし方②:制限された動きのワーク 第 9 回 フィールドワークの事前学習 第 10 回 フィールドワーク 第 11 回 フィールドワークのふりかえり 第 12 回 これから取り組みたい課題について調べる、考える 第 13 回 それぞれの課題について発表と共有 第 14 回 課題の発展と話し合い 第 15 回 まとめ、夏休みに向けた取り組みの確認		
準備学習と必要時間	・提示された課題について調べたり、参考資料を読んだ上で授業に挑むこと。 (必要時間:60 分) ・活動毎にレポートを提出すること。		

評価方法	・授業内及びフィールドワークのレポート — 20% ・からだに関する課題の取り組みと発表 — 20% ・授業での取り組み(実技や話し合いでの積極的な参加と発言) — 60%				
参考文献	とあるアラ子「ブスなんて言わないで」講談社 2022. 竹内敏晴「子どものからだのことば」晶文社 1989. 近藤充夫「幼児のこころと運動」教育出版 2003. 等、随時紹介する。				
特記事項	※学外学習費用:入場料等約 4,000 円+交通費 ※フィールドワーク先は話し合いによって変わる可能性があります。				
課題へのフィードバック方法	提出されたレポートに対してはコメントをし、グループでも共有する。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業	必修	幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格		
実務経験のある教員等による授業内容					